

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0177500204 | | |
| 法人名 | たきかわ介護福祉サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホームともだちの家 ユニットⅡ | | |
| 所在地 | 滝川市西町2丁目3番47号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年2月1日 | 評価結果市町村受理日 | 平成23年4月13日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

年数が経過するにつれ、利用者の状況も変わっていく中、スタッフ皆で試行錯誤しながら頑張っています。管理者が先頭に立ち、事業所としての現状把握に努め、力量不足や反省点を認め、意識改革に取り組んでいます。利用者、スタッフ共に笑顔で楽しく暮らせる様にゆとりのある介護で支援していける様努力しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0177500204&SCD=320 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|----------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人北海道社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 | | |
| 訪問調査日 | 平成23年3月8日 | | |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | センター方式の5つの視点を基に、管理者、スタッフ共に理念を作り上げ、毎朝の申し送りで唱和し、意識づけできる様にしている。スタッフ会議や日頃のエピソードを通じて理念を取り上げ、実践につなげる工夫をしている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 回覧板や買い物等で、挨拶や会話する機会を確保しつつ、町内行事には出来る限り参加できるようにし、交流する機会を持ち続けられる様にしている | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ホームヘルパーや介護福祉士の実習の受け入れを行っている。ともだちの家便りを作り、御家族に送る他、町内の回覧板に回して頂いたりしている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は一個人でなく、団体やグループから会議の都度異なる方に参加して頂き、いろいろな方に参加して頂ける様配慮している。会議形式ばかりでなく、行事への参加や感想アンケートも取り入れ、気軽に参加出来るような雰囲気作りをしている | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 滝川市では、各グループホームの担当者を決めて対応してくれている。また、市内事業所のケアマネジャーの会議が定期的開催されており、市担当者も出席されている為、顔なじみとなり、協力関係を築けるようにしている。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関センサーを取りつけ、外出を察知できるようにし、声掛けや付き添ったりしている。1人1人に合った介護をし、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修会に参加し、学んでいる。その学びを他の職員に反映できる様にしていきたい。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 管理者が中心となり制度等を学び、他の職員に周知し、学ぶ機会を設けている。成年後見制度を活用している事例もある。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 管理者中心となり、本人、ご家族等と橋渡し役となり、十分な説明等を行い、理解、納得が得られる様にしていく。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日々の会話や行動の中で察知できるようにしている。直接事務室へ行き、話す方もおり、それぞれの表現方法を大切にしている。 | | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の声を聞く機会が大切だと改めて認識し、代表者等が職員の意見や提案を聞く機会を設け、実践していく運びとなる。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 勤務時間等、柔軟に対応しており、資格取得に向けての調整等も相談しながら実施し、やりがいや向上心が持てる様に配慮されている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 必要な研修等には1人ひとりの力量と経験に応じ、研修内容等を決めて受ける機会は確保されている。本人の能力に応じ、指導方法や内容を柔軟にしてトレーニングを進めている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市の研修会への参加の他、他グループホームのお祭り等への参加、見学会等の取り組みをしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前面談を必ず行い、情報を得て、職員で周知する様にしてからサービス利用を開始して頂き、スムーズに関係が築ける様に努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 本人はもちろん、ご家族とも面談を行い情報収集すると共に、不安、要望等にも耳を傾け、関係づくりに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 必要な支援を見極め、ご家族と協力しながら対応しており、他のサービス利用へは至らず。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 世間話、ゲームや体操等、共に行う中で喜怒哀楽を共に感じ、スタッフ不調の時に励ましを受ける場面もあり、支え合う関係を実感できる事もある。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会等を利用し、日々の様子を伝え、情報交換したり、共有したりしてケアに共に取り組む姿勢で接している。時には本人とご家族の間に入り、スムーズに関係が築ける様に橋渡しする事もある。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 御家族の協力も得ながら、馴染みの場所への外出、月命日のお坊さんの来訪、理美容等の対応を継続できる様にしている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 関係を把握し、時には利用者同士に任せたり、間に入ったりして調整し、孤立せず、皆で支え合い、交流したりできる様に見守り、働きかけている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | いろいろな形でサービス利用の終了がある為、関係を大切にしながら経過を見守ったりしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の暮らしの中で、体調、表情、会話、仕草等から本人の意向の把握に努めている。会話の中で言葉や表情等から真意を推し図ったり、それとなく確認する様にしている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前面接で情報を収集し把握する他、日々の会話の中からも好みや馴染み等を引き出せる様に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 4か月に1回はアセスメントし、1人ひとりの現状の把握に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 職員皆でアセスメントし、数回に分かれるが会議には全員参加できる様にし、意見やアイデアを反映できる様にし、介護計画を作成している。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の個別記録は皆がいつでも目を通し、記録できる様にしており、情報共有できる様にしている。その記録を基にモニタリングをし、介護計画の見直しに役立てている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用年数が長くなれば本人、御家族共に状況が変わり、ニーズも変わってくる為、その都度御家族とも相談しながら柔軟に対応している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアグループ等を把握し、行事等の必要時には協力頂いて、安心して楽しむことが出来るように配慮している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | それぞれのかかりつけ医に引き続き通える様配慮しており、関係を継続できるように支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週一回訪問看護に来ていただき、利用者の様子を見て頂くと共に相談し、適切な対応ができる様に努めている。24時間の電話相談体制も整えている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際は介護添書を用意し、本人の状態が適切に伝わる様にしている。入院中も退院に向け、目途が立つよう御家族を通じ、病院と相談している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 事業所のできる事、難しい事等を御家族と相談し、終末期に向けて話し合いし、書面に残している。現在まで終末ケアを実施した事例はない。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 1～2年に一度消防の救急の講習に参加し、訓練している。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年に数回に分け、避難訓練を行っている。地域との協力体制はしっかり整っているとは言えない面もある。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 記録類は伏せ字にしてプライバシーに配慮している。言葉掛けや対応等で、尊厳に配慮してはいるが、配慮しきれっていない部分も否めない。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 年々、自己決定や表現する事が難しくなっていく中、その時の状態に合わせ簡単な選択肢を用意したりし、なるべく自己決定できる様配慮している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な生活の流れの中で、利用者のその日の体調や気分を配慮し、柔軟な対応を心掛けているが、スタッフの都合が優先してしまう事も否めないため、本人のペースを出来る限り優先できる様に努めていきたい。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 本人の意向や本人らしさを大切にする為に、髪にカラーを巻く支援や個人用のドライヤー使用の他、服を選びやすい様、数枚の選択肢を出して自己決定し、おしゃれを楽しめる様配慮している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 好みの物を尋ねたり、意思表示が難しくなった利用者には観察し、知る努力をしている。スタッフも同じ物を食べ、皆で楽しめる配慮している。台所仕事が好きな方や出来る方と片付け等をし、感謝を伝える | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個別に水分量、排泄チェックを行い、一日を通して確認している。必要に応じて摂取量もチェックを行い、栄養の確保に努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、力量、習慣に配慮し歯磨き等実施している。困難な方へは口腔ケア用綿棒使用し、清潔を心掛けている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個別に排泄チェックをし、パターンを把握する努力をしている。必要に応じて時間を見て個別にトイレ誘導を行い、排泄の失敗を減らせる様配慮している。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分量や食事内容に気を付け、テレビ体操で体を動かす配慮していたが、便秘への知識と意識が低く、病院での処置のケースも起こってしまった。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 午前、午後の時間帯と大まかに分けて、タイミングを見て声掛けし、入浴支援へとつなげている。3日に1度は入浴できる様にし、清潔を心掛けている。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中に活動を促し、夜間眠れる様配慮しているが、体調不良や寝不足等であれば昼寝してもらうなど柔軟に対応している。不安感が強い利用者は寝る前によく会話をし、不安を取り除くようにしている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の情報は個別ファイルに保存し、いつでも確認できる様にしている。内服時は手渡し、見守りし、チェックシートでも確認している。内服変更後は症状等の変化を観察し、受診時に報告等を行っている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 1人1人の能力を見極め、発揮できる仕事をお願いし、感謝を述べ、張り合いが持てる様心掛けている。百人一首やカルタ、オセロ、歌等、個々の楽しみを提供し、気分転換できる様に配慮している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 季節ごとの行事やドライブがてらの花見等は可能な限りで対応しているが、冬期は雪や寒さにより外出が困難になってしまう事は否めない。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 能力に応じ、本人の手持ち、事務所預かりの形態を取り、御家族とも協力して対応している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 公衆電話を設置し、自由に使用できる様にしている。御家族からハガキが届くと読めない方には代読したりし、理解出来る様に支援している。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 極端にならぬ様、季節感を取り入れた飾り付けや、台所や掃除等の日常生活音に触れられる様にしている。不快となる場合は居場所の工夫をして対応している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 居間や廊下にソファやベンチを設置し、孤独とならぬ様に他人の気配を感じつつ、1人や数人で好きな様に過ごせる様に配慮している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた物を持参して頂く様にしているが、揃わず新たに購入するケースもある。いずれにせよ、本人の暮らしやすさを考え配置し、工夫している。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | バリアフリー構造の基、手すり等も完備。車いすの生活にも対応できる様になっている。トイレや浴室は分かるように明記し、必要に応じ自室入口に名前や目印を掲げている。 | | |